

# AIDA at a Glance

### History

**創業 108年**

1917年の創業以来、プレス加工にかかわるさまざまな技術とノウハウを蓄積しています。

### Business

**プレス機械 専門メーカー**

プレス機械やその周辺装置など、金属部品加工に特化した製品を開発・製造しています。

### Market Position

**世界第2位**

成形システムの世界的ブランドであるアイダのプレス機械売上高は世界第2位※です。  
※ 自社調べ

### Global Network

**グローバル拠点 19ヶ国39ヶ所**

世界5極の生産拠点と販売・サービス拠点が有機的に連携し、最適なグローバル体制を構築しています。

## アイダの事業ポートフォリオ

※ 中期経営計画に基づく事業区分

### プレス事業

**事業内容**  
自動車のボディパネルを成形する大型サーボプレスや、電動車駆動用モーターコア等を成形する高速精密プレス等、自動車、家電、電子機器、建築用資材等の金属塑性加工産業の生産を支えるさまざまなプレス機械を提供しています。

**主な製品**  
汎用サーボプレス、中・大型サーボプレス、精密成形プレス、汎用プレス、中・大型プレス、高速精密プレス、冷間鍛造プレス等

売上高 **462** 億円  
売上高構成比 **60.9%**

### 自動機・FA事業

**事業内容**  
材料供給装置、搬送ロボット、製品取り出し装置等、プレス機械の自動化に必要な周辺機器を開発・製造しています。生産ラインを一貫して提供できるため、生産性向上等が実現可能です。

**主な製品**  
パイリング装置、材料供給装置(コイルフィーダー、ディスクフィーダー(ほか))、搬送装置(搬送ロボット、中間搬送装置)、金型交換装置、電装制御機器等

売上高 **76** 億円  
売上高構成比 **10.0%**

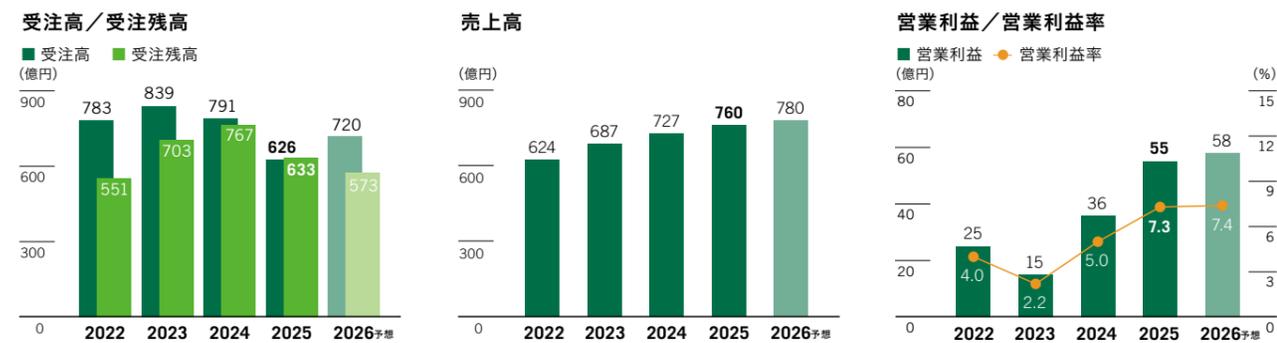
### サービス事業

**事業内容**  
プレス機械は寿命が長いので、納入後も安心して長期にわたってご利用いただけるように、予防保全と事後保全の両面からサービスを行い、お客さまとの関係性の継続・強化を図っています。

**主なサービス**  
修理・トラブルサポート、レトロフィット、オーバーホール、予防保全、プレス点検、移設工事等

売上高 **221** 億円  
売上高構成比 **29.1%**

## 財務ハイライト

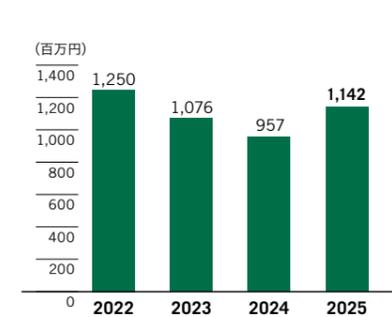


## 非財務ハイライト

### 知的資本・製造資本



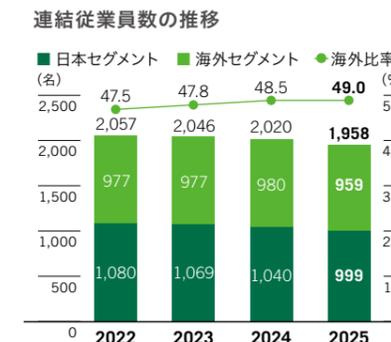
### 研究開発費



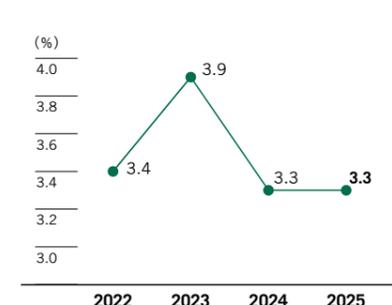
### 設備投資



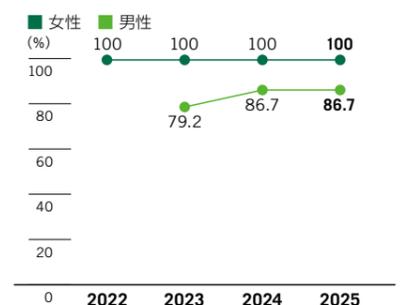
### 人的資本



### 管理職に占める女性労働者の割合(単体)



### 育児休業取得率(単体)

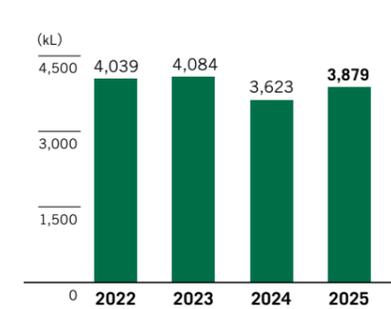


※ 2023年3月期より、過去の数値も含め単体従業員数により算出しなおしています。  
※ 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(平成27年法律第64号)の規定に基づき算出

※ 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(平成3年法律第76号)の規定に基づき、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第25号)第71条の6第2号における育児休業等及び育児目的休暇の取得割合を算出

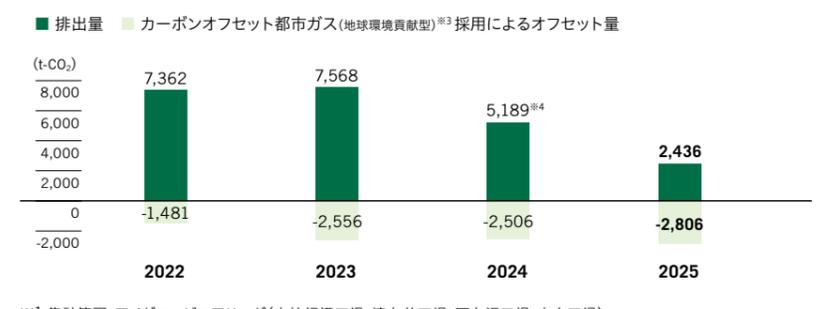
## 環境

### 総エネルギー投入量(原油換算)



※ 集計範囲: アイダエンジニアリング(本社相模工場、津久井工場、下九沢工場、白山工場)  
※ 2023年3月期より算出方法の変更に伴い、過去の数値を遡って記載しています。

### CO<sub>2</sub>排出量<sup>※1</sup>※2及びCO<sub>2</sub>オフセット量



※1 集計範囲: アイダエンジニアリング(本社相模工場、津久井工場、下九沢工場、白山工場)  
※2 2023年3月期よりCO<sub>2</sub>排出量の算出方法の変更に伴い、過去の数値を遡って適用しています。  
※3 2021年10月からカーボンオフセット都市ガス(地球環境貢献型)を採用。カーボンオフセット都市ガスとは、都市ガスのライフサイクルで発生する温室効果ガスの全部又は一部を、国内外のさまざまなプロジェクトで削減・吸収したCO<sub>2</sub>で相殺すること(カーボン・オフセット)により、地球規模での温室効果ガス削減に貢献可能な都市ガスです。(オフセット量はScope3を含む)  
※4 2023年11月からFIT非化石証書付電力RE100対応を導入。購入電力の100%を実質的に再生可能エネルギー由来の電力へ切替することで、相模原の3事業所が使用する電気によるCO<sub>2</sub>排出量がゼロとみなされます。これに伴い、2024年3月期のCO<sub>2</sub>排出量を遡って適用しています。